科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
経済史	千枝　大志	講義	4		1,2,3	1,2,5	2,3,4

授業概要 授業目的	本科目では、経済史的視点から日本の歴史的変遷過程を概観した上で、現代社会の構造を俯瞰できるようになることを目的とする。具体的には７世紀から２１世紀初頭までの経済史を概説する。その際、三重県を含む東海地方を地域経済史の事例対象地域として捉え、それを適宜取り上げる予定である。それは当該期の東海地方の経済史には日本全体に影響を及ぼす史的特質が認められ、また、そのような特質は現代まで連綿と繋がる東海地方の社会経済面での史的土壌形成にも深く結びついているからである。
到達目標	経済の視点からみた日本が歩んだ歴史に関する基本的知識を習得し、その史的潮流を理解する。

回	学習内容	回	学習内容
1	授業を始めるにあたって	16	開港と日本経済の近代化
2	社会経済からみた古代日本	17	明治政府の殖産興業政策と民間企業
3	貨幣の誕生	18	近代産業の勃興
4	荘園公領制と中世前期の日本経済	19	鉄道業の発展
5	中世経済の構造変化	20	「明治啓蒙」の思想
6	中世の貨幣と信用	21	企業家の動向
7	大名領国制と中世後期の日本経済	22	日清・日露戦争と日本経済
8	近世経済の成立	23	第一次世界大戦と日本経済
9	近世前期の経済動向	24	世界恐慌と関東大震災
10	近世前期から中期の貨幣と信用	25	アジア・太平洋戦争と日本経済
11	近世経済の成熟	26	日本の敗戦と戦後復興
12	近世経済の構造変化	27	日本の高度経済成長
13	近世後期から末期の貨幣と信用	28	経済大国への道と貿易摩擦
14	近世経済の終焉	29	バブル経済とその後の日本経済
15	まとめと確認（中間試験）	30	まとめと確認（期末試験）

予習内容 復習内容	予習：授業中に紹介する参考文献等を通読すること等。 復習：配布資料やノートの整理を行なうこと等。
教科書	テキストは指定しない。参考文献は適宜紹介するが、とりあえず、ここでは中西聡編著『日本経済の歴史 - 列島経済史入門 - 』（名古屋大学出版会 2013 年）と平井健介・島西智輝・岸田真編著『Minerva KEYWORDS ⑨ ハンドブック日本経済史 - 徳川期から安定成長期まで - 』（ミネルヴァ書房 2021 年）をあげておく。
成績評価	評価は中間試験（35%）、期末試験（35%）、平常点（30%）の合計で行う。合計が、60%以上で可、70%以上で良、80%以上で優とする。また、1/3 を超える欠席をした者は評価の対象外とする。
実務経験	
その他 特記事項	